

第2回 大気エアロゾルシンポジウム

黄砂からPM2.5まで ～環境・健康への影響～

日時: 2015年2月20日(金)10:00～17:00

場所: 酪農学園大学 研修館

主催: 酪農学園大学 黄砂研究関係科研究費グループ

共催: 酪農学園大学、獣医学研究科・産学連携講座「病原体リスク管理学講座」、日本気象学会北海道支部、北海道立総合研究機構環境科学研究センター、大気環境学会北海道東北支部

後援: 科学研究費助成事業挑戦的萌芽研究、酪農学園大学共同利用研究費

プログラム

開会

10:00-10:20 挨拶・趣旨説明

開会挨拶 干場信二 酪農学園大学学長

趣旨説明

「現在本学で行われているアジアダスト研究について」

馬場賢治 酪農学園大学 大学院酪農学研究科/農食環境学群

第一部 座長 星野弘方

10:20-11:10 基調講演

「風が運ぶ黄砂と口蹄疫」

真木太一 九州大学名誉教授・内閣府日本学術会議連携会員

11:10-12:00 基調講演

「黄砂のふるさと:モンゴルで調査する Home to Asian Dust: A Field Survey in Mongolia」

篠田雅人 名古屋大学 大学院環境科学院

12:00-12:30 講演

「北海道でPM2.5がなぜ高濃度に?—2014年3月と7月の高濃度事例解析—」

秋山雅行 北海道立総合研究機構環境科学研究センター

「森林火災による越境大気汚染とその特徴」

野口泉 北海道立総合研究機構環境科学研究センター

13:10-13:40 講演

「黄砂発生の地表面条件の計測——モンゴル南ゴビ発生黄砂の発生時の地表面臨界条件について」

星野弘方 酪農学園大学 大学院酪農学研究科/農食環境学群

「モンゴル南ゴビにおける黄砂発生時の地表面臨界条件」

出村雄太 酪農学園大学 大学院酪農学研究科

「モンゴル国南ゴビのダストストーム発源地域における水場周辺地域での植生の変動」

祖父江侑紀 酪農学園大学 大学院酪農学研究科

第二部 座長 能田淳

13:45-14:00 講演

「バイオエアロゾル研究:これまでの測定から見えてきたこと」

能田淳 酪農学園大学 大学院酪農学研究科/獣医学群

14:00-14:50 基調講演

「バイオエアロゾルの越境輸送と生態学的特徴」

牧輝弥 金沢大学理工学域

14:50-15:40 基調講演

「環境中微生物の網羅的探索(メタゲノム解析)」

中屋隆明 京都府立医科大学

第三部

15:50-16:40 総合討論会

座長 萩原克郎 酪農学園大学 大学院獣医研究科/獣医学群

閉会の挨拶

全体進行役 馬場賢治

お問い合わせは、011-388-4860(環境気象学研究室)までお願い申し上げます。

